

武蔵工業大学後援会誌[マイコム]

MI-COM

no. 28 2003.8

- 後援会会長挨拶……………p1
- 平成15年度 評議員が開催される……………p2
- 平成14年度 事業報告……………p3
- 平成14年度 決算書……………p5
- 平成15年度 事業計画……………p6
- 平成15年度 予算……………p7
- 平成15年度 役員・評議員……………p8
- 平成14年度 「課外活動に対する補助」による援助……………p9
- Campus Topics……………p11
- 平成15年度 「大学と父母との連絡会」のお知らせ……………p15

写真：平成15年度 体育祭



後援会会長挨拶



武蔵工業大学後援会会長

川端 隆司

SAKURAに思う

花の色はうつりにけりないたずらに 我が身よにふるながめせしまに

これは花(桜)に準えて、時の移ろいのはやさ、儂さを詠った小野小町の歌です。

桜は日本の国花であり、古くから日本人に愛されまた歌われて来ました。

多くの人がこの歌からも連想されるように、桜と謂えば春爛漫の日差しの中で

春風に舞う染井吉野の花吹雪(桜吹雪は遠山金四郎の背中だけです)をイメージするのではと思います。

実際は、ソメイヨシノは明治の初めに染井(豊島区)の植木職人がオオシマザクラとエドヒガンから作りだし吉野桜の名で売り出したと言われており、少なくとも平安時代には無かった様です。

吉野、嵐山はヤマザクラが有名ですが、小野小町が詠んだ桜はどんなものだったのでしょうか。

桜はバラ科に属し学名Prunus、二、三百種類、或いはそれ以上とも言われ、必ずしも春に咲く花ではない。ソメイヨシノが今や全体の80%を占め、桜の開花宣言はソメイヨシノについて言われる様になっていますが、年中何らかの種類の桜が咲いていると聞きます。

ウコン(黄金桜)は紛らわしいのですが肝臓に良いとされるウコンとは別物。

因みに、新宿御苑の桜は大島桜の園芸種サトザクラの変種、イチヨウ(一葉)の様です。

創立75周年を祝い数々の企画がありますが、

その先陣をきって“SAKURA”センターが建設され3月の卒業式、4月の入学式に間に合いました。

建築学科の岩崎先生の手になる美しい建物、

その正面にまさに「左近の」桜、花言葉、精神美に相応しい構図です。

SAKURAと桜、美しいが、実は遅しい桜、これは武蔵工業大学にとって新たな幕開けのシンボルであり、これからの卒業生達の心に刻み続けられていくことでしょう。

桜は日本固有のものではありませんが、我々日本人の心の中に深く入り込み、もはや生活とは切り離せない。サイタサイタ、ポトマック河畔、「サクラサク」、寅さん、桜坂・・・そして世田谷では、桜、桜新町、桜神宮、と数え上げればきりが無い。しかし、絞めはやはり、花より団子、桜餅も良いでしょうが、何と言っても熊本/長野の桜刺し(馬刺し)に山形天童の最高の地酒「出羽桜」、と池波正太郎の雰囲気です。仕上げとしましょう。

酒なくてなんのおのれが桜かな

*** 平成15年度 評議員会が開催される ***

武蔵工業大学後援会の平成15年度評議員会が平成15年5月31日(土)午後2時45分から世田谷キャンパス3号館312教室において役員、評議員117名(うち委任出席35名)の出席のもとに開催されました。

評議員会は川端会長の開会の挨拶で始まり、役員及び今年度新しく評議員に就任された30名の方々が紹介された後、議事に入りました。議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明され、その後、この説明に基づいて審議され採決の結果、次の議案が原案の通り可決、承認されました。

武蔵工業大学後援会平成15年度評議員会

平成15年5月31日(土)
世田谷キャンパス312教室(五島記念館1F)

- 1.開会の辞 川端会長
- 2.報告事項
平成15年度後援会入会者数及び会員数について
- 3.議 事
第1号議案 平成14年度 事業報告について
第2号議案 平成14年度 決算報告について
第3号議案 平成15年度 事業計画(案)について
第4号議案 平成15年度 予算(案)について
4-1 後援会緊急奨学金会計処理
4-2 平成15年度 予算(案)
第5号議案 平成15年度 役員候補者について
- 4.そ の 他
- 5.閉会の辞 神山副会長



堀川学長からの挨拶



議事進行を務める川端会長と浅野学生部長、海老原前学生部長



審議風景(312教室にて)

1 事業

1. 正課外教育援助

課外活動援助

学生団体連合会への援助

学生団体連合会への課外活動の援助金として

14,000,000円を援助(平成14年7月11日)

同好会連合及び学科研究会連合に課外活動援助金として

1,030,000円を援助(平成14年7月11日)

「課外活動に対する補助制度」により第1回、第2回、第3回

合計36件(同好会及び個人含む)へ総額 6,224,321円を援助

第1回 平成14年7月9日 10団体(11件)

第2回 平成14年11月20日 11団体(14件)

第3回 平成15年1月21日 10団体(11件)

主な援助

(1)試合結果が優秀につき奨励補助としてラグビー部、硬式野球部、ワンデリングスキー同好会等に対し援助を行った

(2)体育会に対し、ケガ及び熱中症等の処置のため、部室棟に製氷機設置の一部補助を行った

(3)ワンダーフォーゲル部、スカイスports同好会等に参加保険の一部補助を行った

(4)学生団体連合会横浜分室に対し、国際交流チャリティーコンサート開催の一部補助を行った

(5)Y.F.A.に対し、DRP食器購入費用の補助を行った

(6)航空研究部に対し、「第26回鳥人間コンテスト」出場経費の一部補助を行った

(7)水泳部、ラグビー部に対し全国大会への出場経費の一部補助を行った

他

学生行事に対する援助(357,500円)

(1)スプリングフェスティバルへの援助

(2)文化団体連合会主催のミュージックフェスティバルの運営費を援助



ミュージックフェスティバル

他

強化団体指定による援助(1,200,000円)

平成14年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカンフットボール部、アイスホッケー部、及びハンドボール部に対し、チーム強化のための資金を援助

その他の援助(1,829,100円)

シャトルバス運行の援助

学生顕彰

大学の学生表彰(学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞)のうち、課外活動奨励賞を授与し、副賞を贈呈

在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、19名に「後援会長賞」を授与・表彰

平成14年度「後援会長賞」受賞者

氏名	所属	主な功績	進路先
中園 義盛	機械	新聞会会長	日立粉末冶金(株)
門脇 智雄	機械	ラグビー部主将	(株)荏原製作所
三輪 行宏	機械	ハンドボール部主将 体育会本部会計	(株)牧野フライス製作所
足立 武彦	機械	ウエスタンクラブ部長 学生団体連合会総務 文化団体連合会渉外	(株)昭特製作所
高井 健太	機械	学生団体連合会執行委員長	武蔵工業大学大学院(機械修)
宮川 賢悟	機械	体育会本部長	武蔵工業大学大学院(機械修)
矢崎 秀則	機械システム	体育会本部長 水泳部主将	防衛庁
堂満 和樹	機械システム	航空研究部部長	その他
城戸 克也	電子通信	バトミントン部主将	ジャルインフォテック(株)
幸本 和憲	電子通信	吹奏楽団団長	(株)ケンウッドエンジニアリング
照井 純一	電子通信	放送会会長	(株)八峯テレビ
吉田 大	土木	アメリカンフットボール部主将	(株)エフ・ジェー・ネクスト
前島 正人	経営	MFA 委員長	(株)日立システムアンドサービス
木村 文洋	エネルギー基礎	同好会連合会会長 ゼフィルススキー同好会主将	(株)ササキコーポレーション
武井 繁直	エネルギー基礎	文化団体連合会本部長	(株)日本システムデバイス
石川 潤二郎	環境情報	アイスホッケー部主将	アサヒビール(株)
金本 賢一郎	環境情報	YFA 委員長	ニッセイ情報テクノロジー(株)
田中 祐美子	環境情報	学生団体連合会横浜分室長	生活協同組合コープとうきょう
濱田 有士	環境情報	新聞会会長	生活クラブ生活協同組合

学生の生活指導に対する援助

全学生団体を対象に「救命講習会」の受講を義務付けさせ、その受講費用を援助(1団体1名を義務付け、68名が参加)

リーダー研修会における「テーピング講習会」実施に対し、援助

2 「大学と父母との連絡会」の共催

全国26会場で開催された「父母との連絡会」の費用の一部を負担

横浜会場においては川端会長が後援会を代表して挨拶(平成14年9月28日)

地方会場においては、評議員の方々に会の運営等にご協力をいただいた

3 大学行事への援助と協力

平成14年度入学式に中山会長が来賓として出席し祝辞(平成14年4月2日)

体育会主催の体育祭への援助(平成14年5月)

学生団体連合会主催によるMI-TECH横浜祭の運営資金を援助

(平成14年5月)

学生団体連合会主催によるMI-TECH祭の運営資金を援助

(平成14年11月)

平成14年度学生表彰授賞式
に川端会長が出席し、課外
活動奨励賞を授与
(平成15年2月25日)



学生表彰授賞式

平成14年度学位授与式に川
端会長が来賓として出席し、
「後援会長賞」を授与(平成15年3月19日)

4 後援会緊急奨学金

会員の家計急変により学業の継続が困難な学生に対して授業料
相当額(全額又は半額)を貸与する緊急奨学金は、平成14年度は、
2名に対し総額1,405,000円を貸与(第1回 平成14年6月4日・7日)

5 .会報の発行

後援会の会誌「Mi-com26号」を刊行し、会員へ送付(平成14年8月)
後援会の会誌「Mi-com27号」を刊行し、会員へ送付(平成15年1月)

6 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)に対する援助

平成14年4月5・6日(環境情報学部) 平成14年4月17・18日(工学部)
に実施された新入生を対象とした研修行事に対して援助

7 就職活動に対して援助

進路・就職適性検査「自己発見レポート」(1年)及び「日経学
生経済常識テスト」(3年)を実施

8 .会案内等の送付

平成15年度各入学試験合格者の合格通知に後援会パンフレ
ットを同封して発送

・A方式入試(一般入試)

平成15年2月12日(工)

平成15年2月18日(環)

・B方式入試(センター試験利用入試) 平成15年2月12日

・C方式入試(一般入試) 平成15年3月4日

9 .その他

武蔵工業大学75周年記念事業に寄付を行った
学生(会員)等の死去に際し、香典・花環等を供えた
大学へ「課外活動奨励賞」の候補者の推薦依頼
大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼

2 運営

1 .理事会(2回)

平成14年5月11日(土)

第1号議案 平成13年度 事業報告について

第2号議案 平成13年度 決算報告について

第3号議案 平成14年度 事業計画(案)について

第4号議案 平成14年度 予算(案)について

第5号議案 平成14年度 役員候補者について

第6号議案 武蔵工業大学75周年記念事業の寄付について

第7号議案 武蔵工業大学後援会緊急奨学金規程の変更について
平成14年11月23日(土・祝)

第1号議案 平成14年度 後援会事業経過について

第2号議案 後援会の次年度に向けての運営について

2-1 平成15年度 後援会主要会議等予定(案)

2-2 平成15年度 後援会役員、評議員構成(案)

報告事項 1.平成14年度 後援会会員数について

2.平成14年度 「大学と父母との連絡会」の結果について

2 .評議員会(1回)

平成14年5月25日(土)

第1号議案 平成13年度 事業報告について

第2号議案 平成13年度 決算報告について

第3号議案 平成14年度 事業計画(案)について

第4号議案 平成14年度 予算(案)について

第5号議案 平成14年度 役員候補者について

第6号議案 武蔵工業大学75周年記念事業の寄付について

第7号議案 武蔵工業大学後援会緊急奨学金規程の変更について

なお、当日は評議員会に先立って、新たにお問い合わせする評議員の方々の
学内見学を行い、また評議員会終了後には、大学教職員との
懇談会を開催した

3 .会計監査

平成14年4月20日(土)

高橋、藤田両会計監査により、平成13年度の会計監査を実施

4 .その他

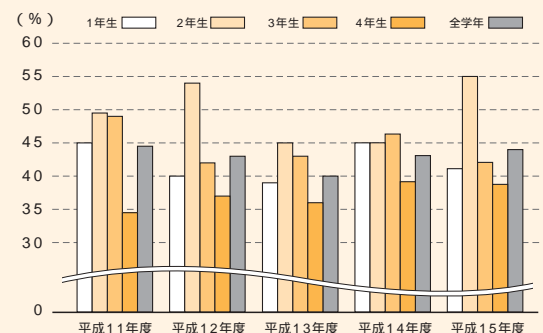
後援会事務担当者の採用(専任・アルバイト 平成14年4月~平成15年3月)

平成15年度後援会会員数 (平成15年5月7日現在)

学部		工学部								環境情報学部		合計	
学年	学科	機械	機械システム	電気電子情報(旧電気電子)	電子通信(旧電子情報)	コンピュータ(旧電子情報)	建築	都市基盤(旧土木)	システム情報(旧経営)	環境エネルギー(旧理工学)	環境情報		
1年生		124	107	119	111	88	130	111	119	62	206	246	1423
2年生		122	96	121	109	71	128	103	113	55	195	248	1361
3年生		83	68	73	87	63	82	77	69	41	136	0	779
4年生		127	93	126	105	69	104	114	119	49	161	0	1067
合計		456	364	439	412	291	444	405	420	207	698	494	4630

大学院		工学研究科							環境情報学研究科	合計
専攻	学年	機械	機械システム	電気	建築	都市基盤	経営	エネルギー量子	環境情報	
修博	合計	56	33	133	51	41	27	32	18	391

過去5年間の在学生クラブ加入率



平成14年度 決算書

平成14年4月1日～平成15年3月31日

科 目	平成14年度 予算	平成14年度 決算	差 異	備 考
(収入の部)	(円)	(円)	(円)	
1. 会費	69,300,000	69,350,000	50,000	新入生の加入者
2. 奨学金返済収入	1,503,500	1,005,000	498,500	奨学金返済金
3. 雑収入	32,000	37,749	5,749	利息収入
4. 前年度繰越金	1,796,648	1,796,648	0	
収入の合計	72,632,148	72,189,397	442,751	
(支出の部)				
事業費	59,600,000	47,314,984	12,285,016	
5. 正課外教育援助費	29,200,000	25,548,399	3,651,601	援助の内容については下表を参照
6. 父母連絡会費	3,800,000	3,490,570	309,430	全国各地で年1回大学と共催
7. 大学行事協力費	3,000,000	2,622,000	378,000	体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭等
8. 学生厚生援助費	4,000,000	2,133,075	1,866,925	厚生設備等への援助
9. 奨学資金費	6,700,000	1,405,000	5,295,000	緊急奨学金
10. 会報発行費	3,200,000	3,080,700	119,300	後援会広報誌の作成(2回)
11. 新入生研修行事費	5,700,000	5,656,000	44,000	全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
12. 就職活動援助費	4,000,000	3,379,240	620,760	就職関連テスト等
運営費	8,450,000	7,368,169	1,081,831	
13. 事務費	4,800,000	4,594,830	205,170	人件費、事務委託費、消耗品費
14. 会議費	1,100,000	621,204	478,796	理事会、評議員会
15. 印刷・通信費	1,400,000	931,770	468,230	通知、案内の郵送、印刷代
16. 旅費・交通費	1,000,000	1,191,960	191,960	地方評議員、役員の旅費
17. 備品費	100,000	0	100,000	後援会関係の備品、什器
18. 雑費	50,000	28,405	21,595	振込手数料等
予備費	500,000	281,948	218,052	慶弔費等
特別会計	4,000,000	4,000,000	0	
19. 後援会基本積立	4,000,000	4,000,000	0	将来の事業拡大のため
20. 記念事業費積立	0	0	0	大学創立記念事業協力
21. 学生事故対策援助費積立	0	0	0	学生事故対策として1000万円まで積立
22. 特別課外活動援助費積立	0	0	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小計	72,550,000	58,965,101	13,584,899	
次年度繰越金	82,148	13,224,296	13,142,148	
支出の合計	72,632,148	72,189,397	442,751	

予算に対し決算が超過した場合に 印を付した。

正課外教育援助費内訳

科 目	平成14年度 予算	平成14年度 決算	差 異	援 助 対 象
正課外教育援助費	29,200,000円	25,548,399円	3,651,601円	
課外活動援助費	27,600,000	24,640,921	2,959,079	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用 (オ)は強化指定団体制度により運用
内訳				
(ア)学団連援助	14,000,000	14,000,000	0	学団連、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	1,400,000	1,030,000	370,000	学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(ウ)一般援助	8,400,000	6,224,321	2,175,679	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学生行事援助	500,000	357,500	142,500	スプリングフェスティバル、ミュージックフェスティバル等
(オ)団体強化援助	1,200,000	1,200,000	0	強化指定団体
(カ)その他の援助	2,100,000	1,829,100	270,900	シャトルバス援助
学生顕彰費	900,000	631,833	268,167	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	700,000	275,645	424,355	リーダー教育、救命講習会受講料援助、学生の国際交流指導等

平成15年度 事業計画

1 事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより一層の活性化をはかるため、学生団体及び学生行事等に対して援助を行う

課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による援助を行う

学生団体連合会へ課外活動の援助金を支給

学生団体連合会へ準加盟の同好会及び学科研究会の連合団体へ組織運営のための援助金を支給

*以下の2項目の援助については、援助希望団体(個人)の申請に基づき、大学学生部の意見を受けて決定

「課外活動に対する補助制度」による一般援助を行う

課外研究、対外活動、環境向上活動、情報収集活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等

学生行事への援助を行う

スプリングフェスティバル、ミュージックフェスティバル、ナイトラリー、公開企画、特別行事等に対する援助

強化団体指定による援助を行う

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための援助を行う(関東リーグ3部以上相当:関東ランキング24位前後以上を目安)

その他の援助を行う

シャトルバス運行の援助

学生顕彰

課外活動奨励賞の授与

学生表彰授賞式において、課外活動奨励賞として、賞状及び副賞を授与

後援会長賞の授与

学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献した学生約20名を表彰し、賞状及び副賞を授与

学生生活指導

学生の生活指導に対する援助を行う

学生団体の責任者を対象とした「リーダーズ研修会」の費用の一部援助
安全教育として学生団体を中心に「救命講習会」の受講を義務付け、その費用を援助

学生(留学生含む)の国際交流活動に対し援助
その他学生生活指導上必要とみとめられる事柄

2 「大学と父母との連絡会」の開催

全国各地において「大学と父母との連絡会」を共催する

今年度は、本学会場(世田谷キャンパス・横浜キャンパス)を含め26会場で開催する

本学会場は、平成15年9月27日(土)を予定

3 「役員・評議員と大学教職員との懇談会」の開催

平成15年5月31日(土)の評議員会終了後の懇談会を大学教職員と後援会役員等と歓談する

4 大学行事への協力

大学及び学生が主催する大学行事、企画への援助協力を行う
(体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭)

5 学生厚生援助

学生の厚生施設・設備の充実のための援助を行う(学生利用施設)

6 緊急奨学金の設置

会員の家計の急変により学業の継続が困難な学生に対し、授業料相当額(全額又は半額)を貸与する

7 会報の発行

後援会の会誌「Mi-com」を年2回発行し、学内の動きを父母に連絡するとともに、誌面を通して会員相互の親睦をはかる

8 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)への援助

毎年4月に実施する新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの援助を行う

9 就職活動に対して援助

進路・就職適性検査「自己発見レポート」(1年)、「自己プログレスレポート」(2年)及び「日経学生経済常識テスト」(3年)を実施する

2 運営

1 会議

理事会 2回 平成15年5月17日(土)、11月22日(土)予定
評議員会 1回 平成15年5月31日(土)

2 その他

後援会事務担当者の採用(専任・アルバイト 平成15年4月1日～平成16年3月31日)



武蔵工業大学後援会 ホームページ随時更新!

本会のホームページはもうご覧になりましたか?
本会の事業内容・活動状況をはじめ、Mi-com(マイコム)のバックナンバー等、武蔵工業大学後援会に関する様々な情報を掲載しております。
内容の更新も随時行っておりますので、是非ご利用ください。

ホームページアドレス

<http://www.comm.musashi-tech.ac.jp/~kouenkai>



平成15年度 予算

科目	平成15年度予算	備考
(収入の部)	(円)	
1. 会費	71,780,000	新入生の加入者
2. 奨学金返済収入	0	奨学金返済金
3. 雑収入	10,000	利息収入
4. 前年度繰越金	13,224,296	
収入の合計	85,014,296	
(支出の部)		
事業費	60,600,000	
5. 正課外教育援助費	31,800,000	援助の内容については下表を参照
6. 父母連絡会費	3,800,000	全国各地で年1回大学と共催
7. 大学行事協力費	4,000,000	体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭等
8. 学生厚生援助費	4,000,000	厚生設備等への援助
9. 奨学資金費	0	緊急奨学金
10. 会報発行費	3,600,000	後援会広報誌の作成(2回)
11. 新入生研修行事費	5,900,000	全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
12. 就職活動援助費	7,500,000	就職関連テスト等
運営費	8,950,000	
13. 事務費	4,800,000	人件費、事務委託費、消耗品費
14. 会議費	1,100,000	理事会、評議員会
15. 印刷・通信費	1,400,000	通知、案内の郵送、印刷代
16. 旅費・交通費	1,500,000	地方評議員、役員の旅費
17. 備品費	100,000	後援会関係の備品、什器
18. 雑費	50,000	振込手数料等
予備費	1,000,000	慶弔費等
特別会計	14,000,000	
19. 後援会基本積立	0	将来の事業拡大のため
20. 記念事業費積立	4,000,000	大学創立記念事業協力
21. 学生事故対策援助費積立	0	学生事故対策として1,000万円まで積立
22. 特別課外活動援助費積立	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
23. 緊急奨学基金	10,000,000	緊急奨学基金設置
小計	84,550,000	
次年度繰越金	464,296	
支出の合計	85,014,296	

正課外教育援助費内訳

科目	平成15年度予算	援助対象
正課外教育援助費	31,800,000円	
課外活動援助費	30,200,000	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用 (オ)は強化指定団体制度により運用
内訳		
(ア)学団連援助	15,700,000	学団連、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	2,000,000	学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(ウ)一般援助	8,400,000	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学生行事援助	800,000	スプリングフェスティバル、ミュージックフェスティバル、ナイトラリー等
(オ)団体強化援助	1,200,000	強化指定団体
(カ)その他の援助	2,100,000	シャトルバス援助
学生顕彰費	900,000	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	700,000	リーダー教育、救命講習会受講料援助、学生の国際交流指導等



平成15年度 役員・評議員

役員 (敬称略)

会長	川端 隆司	電気電子	(再)	理事	青柳 廣	環境情報	(再)
副会長	神山 次郎	電気電子	(再)	理事	飯田 真也	環境情報	(再)
副会長	相模 静夫	経営	(新)	理事	野口 雅人	機械	(新)
理事	鎗居 秀禎	機械	(再)	理事	稲岡 一義	機械システム	(新)
理事	小林 昭夫	電子情報	(再)	理事	桑名 好治	機械システム	(新)
理事	置田 泰和	機械	(再)	理事	松井 敏明	電気電子	(新)
理事	高橋 渡	電子通信	(再)	理事	榎本 英雄	電子通信	(新)
理事	辻 定彦	電子情報	(再)	理事	岡野 雄治	システム情報	(新)
理事	佐丸 雄治	土木	(再)	理事	村井 和夫	エネルギー基礎	(新)
理事	山崎 郁太郎	経営	(再)	理事	井澤 邦輔	環境情報	(新)
理事	上月 直登	機械	(再)	会計監査	高橋 佑太郎	電気工学	(再)
理事	首藤 光宏	機械	(再)	会計監査	久保木 伸浩	機械	(再)
理事	千田 哲也	機械システム	(再)				
理事	松居 正	電気電子	(再)	顧問	学長	堀川 清司	
理事	石田 敏道	エネルギー基礎	(再)	顧問	教授	海老原 大樹	

評議員 (敬称略)

村田 統治	東京都	機械工学	(再)	青木 茂	栃木県	土木	(再)	神谷 哲夫	愛知県	機械	(新)
加部 祥司	神奈川県	機械工学	(再)	笠原 徹	神奈川県	土木	(再)	近藤 亮平	東京都	機械システム	(新)
森岡 隆行	東京都	電気工学	(再)	奥 行夫	鹿児島県	経営	(再)	寺島 宏	長野県	機械システム	(新)
太田 秀夫	東京都	機械工学	(再)	茅野 元昭	愛知県	経営	(再)	長尾 信	東京都	機械システム	(新)
齋藤 文彦	神奈川県	機械システム工学	(再)	久保田 俊治	山梨県	エネルギー基礎	(再)	福永 徹	鹿児島県	電気電子情報	(新)
石原 昌司	沖縄県	電気工学	(再)	栗城 源一	福島県	環境情報	(再)	森谷 正彦	神奈川県	電気電子情報	(新)
石黒 勝利	北海道	都市基盤工学	(再)	江森 則雄	東京都	機械	(再)	玉浦 裕	東京都	電子通信	(新)
江本 豊海	神奈川県	電子通信	(再)	榎本 稔	京都府	機械システム	(再)	石丸 栄一	福岡県	コンピュータメディア	(新)
川村 潤	東京都	機械	(再)	木村 喜一	埼玉県	電気電子	(再)	猪熊 康夫	静岡県	コンピュータメディア	(新)
高島 和憲	東京都	機械	(再)	長尾 幸次郎	岡山県	電気電子	(再)	角田 孝	神奈川県	コンピュータメディア	(新)
阿部 栄一	神奈川県	機械システム	(再)	坂本 静夫	神奈川県	電子通信	(再)	河村 光治	東京都	建築	(新)
原田 洋一	高知県	機械システム	(再)	沼田 実	青森県	電子通信	(再)	田内 純吉	高知県	建築	(新)
井上 博	神奈川県	電気電子	(再)	桑田 哲夫	東京都	電子情報	(再)	中村 誠一	宮崎県	建築	(新)
与那原 正	沖縄県	電子情報	(再)	後藤 達也	宮城県	電子情報	(再)	廣川 輝誉嗣	神奈川県	建築	(新)
十河 護	香川県	建築	(再)	中野 英一	大分県	電子情報	(再)	菅原 次郎	神奈川県	都市基盤	(新)
酒寄 光男	栃木県	経営	(再)	川本 裕資	群馬県	建築	(再)	關根 孝夫	埼玉県	都市基盤	(新)
磯部 義久	静岡県	エネルギー基礎	(再)	香西 信一郎	千葉県	建築	(再)	横松 宏明	栃木県	都市基盤	(新)
岩田 邦男	神奈川県	エネルギー基礎	(再)	中村 秀文	神奈川県	建築	(再)	長崎 俊夫	東京都	システム情報	(新)
相坂 功	新潟県	環境情報	(再)	前田 稔	神奈川県	都市基盤	(再)	望月 俊治	山梨県	システム情報	(新)
阿部 賢一	千葉県	環境情報	(再)	増田 和茂	東京都	都市基盤	(再)	長崎 正裕	神奈川県	システム情報	(新)
石川 健哉	茨城県	機械システム	(再)	皆川 勇治	新潟県	エネルギー基礎	(再)	赤羽 功司	東京都	環境エネルギー	(新)
神田 積	広島県	電気電子	(再)	天野 彊二郎	埼玉県	環境情報	(再)	永田 豊	千葉県	環境エネルギー	(新)
税所 廣志	宮崎県	電気電子	(再)	渡部 正博	北海道	環境情報	(再)	右近 義隆	東京都	環境情報	(新)
大塔 容弘	東京都	電子通信	(再)	稲垣 公一	静岡県	情報メディア	(再)	広瀬 春彦	神奈川県	環境情報	(新)
安田 一行	福岡県	電子通信	(再)	高田 育紀	栃木県	情報メディア	(再)	櫛山 和彦	東京都	情報メディア	(新)
熊添 政治	神奈川県	電子情報	(再)	森 民生	東京都	情報メディア	(再)	杉野 栄太郎	神奈川県	情報メディア	(新)
高島 勝義	群馬県	電子情報	(再)	石戸谷 重徳	東京都	機械	(新)	関本 準一	新潟県	情報メディア	(新)
明地 恭敬	愛媛県	建築	(再)	水野 博次	神奈川県	機械	(新)				
大深 修	岡山県	建築	(再)	磯貝 興作	広島県	機械	(新)				

(新)は新任。(再)は再任



平成14年度「課外活動に対する補助」による援助

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。

これは学生が自主的な財源確保の努力をしつつも補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられているものです。

統括団体への援助

団体名	代表者名	申請件名	決定額
学生団体連合会	山根 拓也	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	14,000,000
同好会連合本部(23団体)	和田 智之	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	730,000
学科研究会連合	萩原 正明 青木 真美 小波 靖雄	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	300,000

一般補助 第1回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
体育会	城間 啓毅	体育会ナイトラリー	7月6日、7日予定のナイトラリーに昨年同様多くの参加者が見込まれ、その運営費の補助。	273,200
体育会 (グラウンド系)	松尾 寿裕	製氷機設置に対する補助	夏季の活動において熱中症の予防のための飲み水や怪我人の処置に氷は必要不可欠である。常時氷を用意することは困難であり、製氷機の設置を希望。その補助申請。	270,650
学生団体連合会 (放送会)	山根 拓也 玉田 智行	デジタルビデオレコーダー購入費用の補助	様々な行事の記録撮影への対応には、ビデオレコーダーが最適の状態ではなくてはならないが、現在使用のものは老朽化により各所に故障が発生。修理に際し、在庫もないものもある。また、YC情報メディアセンター所有のビデオとは規格が違うため互換性がない。これらに対処するため新規購入希望。	705,705
M.F.A.	鎌田 智彦	トランジスタメガホン (拡声器)購入のための補助	現在使用の拡声器は音量的に狭い範囲しか通用せず、学祭の説明会や当日の呼びかけに支障をきたしている。この度買い足すにあたり、補助希望。	48,090
航空研究部	山本 類	鳥人間コンテスト出場遠征費用の補助	7月27日、28日、琵琶湖にて開催の第26回鳥人間コンテスト滑空機部門に出場決定。交通費、機体輸送費、宿泊費等多額の遠征費が必要。部員からの徴収やOBの寄付金等資金調達をしてきたが、未だ不足の状態である。補助希望。	505,000
水泳部	鎌田 直樹	交通費の補助	校舎改築によるプール取り壊しで、付属高校、大倉山高校での練習となった。練習場所までの交通費が必要となり、部員での負担が困難なため補助希望。	50,000
アイスホッケー部	石川潤二郎	リンク代(練習、練習試合)の補助	OBからも寄付金をいただいているが、部員不足により高額なリンク代を部費だけでは賄えない状態。今後2部昇格するために練習回数を増やしたく、補助希望。	450,000
ヨット部	木本 智彦	修理及び備品購入に対する補助	船齢6年目を迎え老朽化が進みメンテナンス費が増加。ヨットの安定性を支えるバラストに欠陥が発見され、塗料の塗り替えを行った。突如、多額の出費となり、他の備品買い替えが困難である。援助希望。	79,850
アメリカンフットボール部	吉田 大	スポーツ保険大幅値上げ及び怪我防止対策費の補助	加入が義務付けられているスポーツ安全保険の年間掛金金が1名9,000円となり、大きな負担となっている。また、非常に激しい運動であるため、怪我防止のテーピング代も大きな負担である。部費ではリーグ戦参加に係わる費用の一部充当にしかならず、補助希望。	90,000
陸上競技部	小澤 悟	第35回七大学対抗陸上競技大会の主催に対する補助	6月22日、左記大会が我が校幹事で行われたが、莫大な出費となり各校の分担金や部費では賄いきれない。また、正式な公認記録となる電気計時(写真判定)にするため、援助希望。	208,259
スカイスーツ同好会	山下 広輔	スポーツ安全保険における補助	保険の加入は必要最小限なものと考えられる。その保険料の支払いは学生にとって負担であるため、補助申請。	54,000
合計	10団体		11件	2,734,754

一般補助 第2回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
学生団体連合会	山根 拓也	印刷機リース代(3回目)	印刷機の継続利用。	210,420
学生団体連合会		プリンタ導入	現在使用中のプリンタが故障、修理が不可能となる。円滑な課外活動を進める上での資料の印刷に欠かすことができない。補助希望。	28,140
学生団体連合会 横浜分室	相坂 瑠衣	第5回国際交流チャリティーコンサートの開催	国際交流や学生のコンサートをメインとし、今年はチャリティー先をアジアに選定し、より充実したチャリティーとなるための準備を進めている。補助希望。	300,000
Y.F.A.	足立 英里	FAX機能付電話購入に関して	学園祭において、FAX機能が付いていない電話機のため、広報協力企業やその他、契約や他団体とのやりとり等大きな支障があった。また、大学間でFAXにより情報の共有を行っているため今後の活動にも影響が考えられる。補助希望。	30,240
新聞会	桜井 康雅	航空研究部の鳥人間コンテスト出場に対する取材の補助	航空研究部の鳥人間コンテスト出場は誇らしいことであり、本会発行の学内新聞「Mitwork」に掲載。遠方琵琶湖での取材のため金銭的に負担が大きく、補助希望。	71,950



鉄道研究部	渡辺 泰輔	横浜祭参加のための一部経費の援助	横浜祭に参加し、模型運転会及び写真展を実施。例年にも増し多数の来場者があった。新規製作のレイアウトや東急の新車の特集した写真展は多くの方から高い評価を得、当部製作の模型コントローラーも好評であった。しかしこれらのイベントを行うには経費がかさみ、今後の横浜祭の盛り上げの推進のためにも補助希望。	52,174
水泳部	前川 峻徳	冬季練習場レンタル料	本学には屋内プールがないため、10月以降は辰巳国際水泳場を週1~2回練習場として使用。1回あたりの使用料が5,000円のため、部費、部員からの臨時徴収では全て払うことができず、補助申請。	50,000
		全日本学生選手権出場	9月6.7.8日に行われた全日本学生選手権(名古屋レインボープール)に竹村亜衣(環3年)が3年連続出場。この大会は国内の学生トップスイマーが集う大会であり、本学水泳部史上2人目の快挙である。	60,320
ラグビー部	門脇 智雄	理工系リーグ大会優勝	左記大会、全勝優勝に対して。	100,000
硬式庭球部	渡辺 大輔	平成14年度関東理科大学テニスリーグ男子2部優勝・第1部昇格	男子2部リーグにおいて3戦全勝、入替戦では第1部法政大学を7-2(内ダブルス2-1)で下し、11年ぶりに第1部に返り咲いた。	100,000
		平成14年度関東理科大学テニスリーグ女子第11部優勝・第10部昇格	武蔵工業大学硬式庭球部史上初の女子部誕生年に第11部トーナメントを優勝。第10部に昇格。	50,000
ヨット部	木本 智彦	修理及び備品購入に対する補助	毎年9月初めに学内及び一般の方を対象にヨット試乗会を行っている。船が7年目を迎え各所に老朽化が進んでいる。これらの老朽化は事故にも繋がりがねない。クルーザーヨットということもあり船の整備費も非常に高額であるため、援助を希望。	120,173
ワンデリングスキー同好会	劉 功義	長野県知事杯争奪学生スキー大会での活躍に対する奨励補助	毎年参加の左記大会にて団体優勝を収めた。また、横関良が個人総合優勝を収めた。	100,000
機親会	伊能 悟	2002年度燃費競技における大会出場結果及び次期省エネカー製作に対して	「HONDAエコノパワー燃費競技全国大会」にて23位の大健闘をし「第13回日本省エネカー研究会燃費競技」でも5位入賞、チームでは優秀賞を受賞した。来年度は1・2年だけの若いチームとなりニューマシンを製作し、上位入賞を目指している。	50,000
合計	11団体		14件	1,323,417

一般補助 第3回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
学生団体連合会 横浜分室	相坂 瑠衣	印刷機導入(第3回目リース代)費用の補助	印刷機導入は、横浜キャンパスでの諸団体の活動の活発化に繋がる。これまではコストの高いコピー機や、世田谷キャンパスの印刷機を利用していたため、勧誘、広報活動が制限されていた。サークルを含め団体数も増加し、需要が十分にあると考えられる。導入にかかる費用の補助申請。	194,040
		分室PC用のプリンタ購入費用の補助	現在使用中のプリンタが故障、資料の印刷ができない状態である。修理にもプリンタ購入と同額程度の費用がかかるため、新規購入希望。補助申請。	20,790
Y F A .	足立 英里	DRP食器の購入に関する補助	MI-TECH横浜祭では環境負荷軽減を図り、DRP(Dish Returns Project)というシステムを導入。このシステム上必要な食器が現在保有の個数では対応しきれず、横浜祭の運営に支障をきたした。来年度は横浜祭の規模の拡大が目標であり、食器の需要の増加が見込まれる。横浜祭の要であるDRP存続のため、新規購入代の補助希望。	42,000
体育会本部	木本 智彦	パソコンのリース代	各部の体育館・グラウンド使用、また体育祭、フットサル大会、学園祭警備、事務資料の資料作成でパソコンを使用するため、引き続きリース代の補助申請。	98,280
新聞会	森田 良平	ラグビー部の全国大会出場に対する取材の補助	本校ラグビー部は2003年1月2・4・6日に行われる「第53回全国地区対抗大会」に今回も出場。常に優秀な成績を収めており、このめざましい活躍を全学的にアピールすることは新聞会の要務である。試合会場は遠方の名古屋であり、取材費の補助申請。	122,520
鉄道研究部	岸本 洋幸	機関誌「スチールカー学祭号」発刊について	機関誌「スチールカー学祭号」を学祭にて無料配布。今年度の年間テーマ「東京3大ターミナル」は来場者や当部のOBからも高い評価を得た。コンピュータを用いた編集を行ったため、印刷代に加え、写真代、編集代がかかり、費用もかさんだ。部費で賄うには限界であり、補助希望。	50,000
ラジオクラブ	大村 貴俊	ハムフェア2002への出展参加	アマチュア無線の中で最大級のイベントである「ハムフェア2002」に参加。他クラブとの技術的な情報交換ができ、OBにも当クラブの現状を知っていただくことができた。武蔵工業大学の名を一般客にもアピールできたと思う。出展参加費等、補助希望。	30,000
ワンダーフォーゲル部	杉田 博司	平成14年度部活動に対する保険代	我が部では山岳地帯、離島を中心に幅広く活動している。万一の事故に備え、部員全員に対し部活動に対する一年間の保険として、東京海上の普通傷害保険に加入。補助希望。	19,520
ラグビー部	門脇 智雄	全国地区対抗ラグビーフットボール大会出場	地区予選において全勝優勝し、1月からの全国大会に出場決定。宿泊費、交通費、備品等の補助希望。	1,449,000
バレーボール部	勝又 努	関東大会10部に昇格	左記大会にて、10部昇格。ボール・ボールバッグを新しくし、チーム一丸となって頑張った。9部昇格を目指す。	100,000
アメリカンフットボール部	吉田 大	2部オールスターゲーム参加費用の補助	今年、当部からオールスターに3名選出された。参加費用として、交通費、宿泊費、食費、試合用ジャージ代、保険料等を負担。補助希望。	40,000
合計	10団体		11件	2,166,150



☆ 元プロテニス・プレーヤー 沢松奈生子さん特別講演会開催

2003スプリングフェスティバル 平成15年4月2日(水) 「ウインブルドン風に誘われて」

元プロテニス・プレーヤーの沢松奈生子さんを迎えた特別講演会には、新入生・保護者を合わせ約1000名が詰め掛け、独特の歯切れのいいトークを堪能しました。沢松さんは1時間にわたりさまざまなお話を披露してくださいましたが、ここではその中でもとくに印象的だった「個性」についてのお話をご紹介します。



プロテニスプレーヤーとして世界中をまわっていたとき、私が一番強く感じたのは、これからの時代、個性がなければとても世界の一線と戦っていけないということでした。2年前に引退したドイツ人の選手でステフィー・グラフという選手がいました。皆さんご存じの通り、とんでもなく強い人です。この人がどんな選手だったかと言うと、フォア(利き腕側で打球すること)がめちゃくちゃうまいんですよ。バック(利き腕側と反対側で打球すること)は、大きな声ではいえませんが、あんまりまくない。はっきり言えばヘタ。すごく個性が強い人ですね。でも彼女はその個性を伸ばし、武器にして、それで世界を獲ったんです。

ただこういう例もあります。世界ランキング300位に、時速180kmのサーブを武器とするある選手がいました。時速160kmを越えると、プロ選手でもなかなか取れません。しかし残念なことに、その選手はそれ以外があまりにおお粗末。フォアもバックもできないんです。5球つなげたらミスしてくれる。これではもちろん世界では戦えません。個性が強過ぎるとこういう弊害もたしかにあります。

それでは私たち日本人選手はどうか。あるとき、世界の1位だったモニカ・セレスという選手に、私たち日本人選手についてどう思うかと聞いたことがあるんです。セレスが言うには、日本人を相手とすると、弱点が少なくてやりにくいと言います。だけど怖くない、と言われました。これって致命傷ですよ。勝つか負けるかという1対1の勝負の世界で、やりにくいけども怖くない、なんて言われたら。つまり私たち日本人選手には、怖いと思わせる個性がなかったん

です。私の先輩の伊達公子さんは世界の4位までいきました。4位と言えばもうトップ選手中のトップです。その伊達さんがどうだったかと言えば、やっぱり24位までいったときは個性があったと思うんです。それがライジングショットという武器。相手が次の行動に移るまでに、要するに打った場所からもとの場所まで戻るまでの間に、どんどん攻めていく。速いテンポで攻めていく。あの技術は彼女だけのオリジナリティなんです。

私は5歳から10歳までドイツで暮らしていて、そのときテニススクールに入っていたのでわかるんですが、向こうのコーチは、何か得意なショットがあるのなら、それをどんどん伸ばしてあなたの武器にしてしまいなさい、と教えるんです。日本のコーチは、なるべく平均的に、全部ができるように弱点を克服しましょうね、という教え方をします。もちろん、どちらが正しいとは言えないと思います。個性ばかり強くても試合に勝てないし、だからといって個性がない選手、平均的に全部できる選手、これも試合に勝てない。相手に怖いと思ってもらえない。

私はテニスの話をしましたけれども、これはどんな世界にも言えることだと思います。平均的になんでもできることも大切だけど、自分の個性という武器がなければ世界に通用しない。とっても難しいバランスですが、これからの4年間で知識や経験をますます高めていく皆さんには、ぜひ頭の隅でそのことを覚えておいてもらいたいと思います。



沢松奈生子氏プロフィール

祖父から続く名門テニス一家に生まれ、ドイツ在住の5歳の頃から自ら進んでテニスを始める。さまざまなジュニアタイトルを制覇後、15歳6か月で全日本選手権に初出場初優勝の離れ業を演じる。91年神戸松蔭女子大学に入学と同時にプロ転向、学生との二足のわらじに挑戦。4大会本戦に34回出場。92年のウインブルドンではベスト16、95年の全豪では阪神淡路大震災で自宅が全壊した中でベスト8入りを果たした。海外トーナメントは4勝、WTA自己最高ランキング14位。98年に引退し、テニス解説者、スポーツキャスター、エッセイストなど幅広い分野で活躍を続けている。



☆フレッシュマンキャンプレポート

工学部コンピュータ・メディア工学科
1年次クラス担任 向井信彦

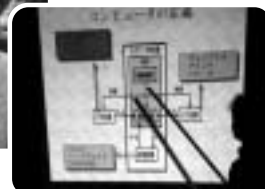
今年も新入生を対象としたフレッシュマンキャンプが、各学部・学科において実施され、コンピュータ・メディア工学科は4月15・16日の両日にわたり、河口湖畔のホテルを会場として開催しました。

出発日はあいにくの雨でしたが、予定よりも早くホテルに到着。荷物の整理を行った後、大広間に集まって早速研修の開始です。研修は「コンピュータ・メディア」について各自収集した情報を基に、チームに分かれての討論です。しかも、翌日には討論結果の発表会があります。チームの中にはコンピュータに詳しい人も若干いますが、大半の人が初心者という状況下で、発表用原稿をコンピュータで作成し、プロジェクターで投影して全員の前で発表しなければなりません。そこで、キャンプでは上級生が付き添い、各チームでの検討に加わると共に、コンピュータの使い方だけでなく、発表用原稿の作成技術などについても親切に指導してくれました。研修にも熱が入り、研修終了の時刻を過ぎてでも大広間に残って討論を続けるチームも多々ありました。上級生の指導と新入生の努力のお陰で、翌日の発表会は各チーム共、新入生とは思えないほどコンピュータを使いこなし、

とても素晴らしい内容になりました。発表会の成績集計に予想以上の時間を要するというトラブルもありましたが、最優秀賞1件、優秀賞2件、学科賞、プレゼンテーション賞及びチームワーク賞各1件が選ばれ表彰式と賞品授与を行いました。発表会終了の頃には前日の雨もあがり、河口湖畔には雄大な富士山がそびえ立っていました。



発表会後の講評風景。成績の集計にも熱が入る。さて、栄冠はどのチームに!



発表会の様子。コンピュータ・メディアに関する専門的な知識を発表したチームも。

☆活気溢れる SAKURA CENTER 14

学生部長 浅野鉦世



武蔵工業大学創立75周年記念事業の一環として、この3月に食堂や体育館を兼ね備えた地上4階地下1階の建物が世田谷キャンパスに完成しました。その名もSAKURA CENTER 14、厳しい社会情勢の中、本学に春の訪れを感じさせるこの建物は、学生諸君の長年の夢であった学生会館的な色合いをも匂わせています。中を覗いて見れば天井が高く広々とした空間をもつ食堂(CANTEEN RARA)、全面ガラス張りで開放感あふれるCAFE(SORA)、空調付きのトレーニングルーム、音響効果も抜群で明るい体育館、文具や書籍が一体となったBOOKS&STATIONERY、広い間取りと大きな窓をもつ学生団体連合会系各本部室、日本の伝統文化である華道や茶

道等も落ちついた雰囲気で行えるMUSASHI庵、他にもロッカールーム、シャワールーム、ドレッシングルーム、武道場等あらゆる機能がコンパクトに集約されている建物であります。さらに人に優しいバリアフリーを取り込み、身体の不自由な人でも自由に移動できるように動線が配慮され、今では学生諸君の憩いの場としてその機能を十二分に発揮しています。

また、各階には無線LANも設置され、どこからでもパソコンを使用できるため、学生がSAKURA CENTERを利用する頻度は、旧食堂があった9号館建物の比ではありません。学生諸君の表情も以前より明るく活気に満ち溢れ、マナーの面にも良い影響が現われています。来年10月、新図書館完成の暁には、この地域が学生諸君の憩いの場として、あるいは勉学と課外活動の中心的な場として発展していくものと思われま。

父母の皆様もぜひ一度ご来校され、新しく生まれ変わった武蔵工業大学の姿や学生の実像をその目で確かめてみてください。

☆武蔵工業大学創立75周年記念事業 記念講演会(後援会共催)のお知らせ

武蔵工業大学は平成16年度に創立75周年を迎えます。その75周年記念事業の一環として、スキー複合金メダリスト 荻原 健司氏による記念講演会を開催いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

日時：平成15年11月22日(土) MI-TECH祭期間中) 開場13:30 開演14:00(約1時間を予定)
会場：武蔵工業大学 世田谷キャンパス SAKURA CENTER #14 東京都世田谷区玉堤1-28-1
テーマ：「私のスキー人生」 入場料：無料
問い合わせ先：武蔵工業大学 創立75周年記念事業委員会 記念講演会部会 担当 大庭(おおば)
TEL：03-3703-3111(代) E-mail：75kinen@adm.musashi-tech.ac.jp

荻原健司氏プロフィール

1992年アルペールビル五輪、94年のリレハンメル五輪の団体で連続金メダルに輝いた。またワールドカップでも93、94、95年と個人総合3連覇という偉業を成し遂げ、「キング オブ スキー」として海外からも厚く支持された。98年長野五輪では日本選手団主将として、開会式で選手宣誓を努めた。また双子の弟・次晴氏と一緒に出場したことも記憶に新しい。2002年ソルトレークシティ五輪では4大会連続出場を果たしたが、納得のいく成績は出せなかった。明るい言動やスター性を持った選手で日本のスポーツ界の顔として活躍した。そして02年5月13日、惜しまれながら現役を引いた。



☆ 1万人以上の来場！ ますますパワーアップした横浜祭

第7回 MI-TECH横浜祭レポート 平成15年度MI-TECH横浜祭運営委員会委員長 伊藤寛譜(環境情報3年)

去る6月7日(土)・8日(日)の2日間にわたり、武蔵工業大学横浜キャンパスにおいて、第7回MI-TECH横浜祭が開催されました。地域に密着した祭り・学部の色を出した環境に配慮した学園祭として、今年は10746人の方に来場していただき盛況のうちに終了することができました。



今年度は僕たちの団体も37名と過去最高の人数で当日を迎えることができました。『今まで先輩方が築き上げてきた横浜祭を一步でも先へ進める・自分たちの色を出す・当日の来場者の方々の笑顔』を合言葉に頑張ってきました。僕たちの団体は横浜祭が6月に開催される関係上、引き継ぎが夏休みに行われ、後期からは二年生が中心となって次の横浜祭に向けて活動し始めます。今年度も例年通りこの形で活動を行ってきましたが、正直辛かったです。みんなが同じ方向を向くように何度も何度も話し合い、衝突しながらコンセプト・テーマ・企画・管理計画・当日の運営計画と徐々に決まってきました。全てを決めるのには実際のところ一年間では足りないと思いながら、僕たちに与えられた時間を大切に使い、今年

度の横浜祭の準備を行ってきました。活動していくにつれて、辛いことや楽しいことを共有できるようになり、僕たちは『仲間』になりました。そして当日来場者の方々に満足して頂きたいと思う気持ち一つで最後の一ヶ月間は頑張りました。

ただ僕たちの力だけでは横浜祭を創ることは不可能であり、たくさんの人のご協力あって初めて完成できたのだと思います。来年度以降にもこのことはきちんと引き継ぎ今年度より先すごい横浜祭ができるようにと思っています。

最後になりますが、この場を借りて、ご指導ご鞭撻していただいた教職員、並びに関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

企画内容

6/7(土)

放送会イベント ムサコー校生クイズ Xボックスクイズ
SISAYライブ 神輿 パフォーマンスアワー
フリーマーケット バンドライブ ダンスパーティー
新聞会映画上映会 青山研究会オムニバス講演
芸能人ライブ

6/8(日)

吹奏楽団演奏会 ビンボンダッシュ ハマこい乱舞
ビンゴりんご2 演武会 フリーマーケット
学生プロレス 大道芸 新聞会映画上映会
ネパール講演会 北野 大氏による講演会 後夜祭

☆新たに取り入れた種目が参加者に大好評を博す！

武蔵工大恒例 平成15年度 体育祭 平成15年度体育祭実行委員長 堀江敏博(機械3年)

去る5月21日(水)・22日(木)の2日間にわたり、武蔵工大恒例の体育祭が世田谷・横浜の両キャンパスで同時開催されました。競技種目は全部で20。2日間で約4000人の学生がそれぞれの競技で熱い闘いを繰り広げました。

平成15年度 体育祭の総括

本年度の体育祭は前日の雨の影響で、世田谷キャンパスの1日目のグラウンドでの競技が長縄を除いて中止になってしまった。しかし、開催期間中は天候に恵まれ、予定通りスムーズに競技を行うことができた。また、長縄、ポートボールといった新競技の開催と当日参加のできるアトラクションを増やしたことにより、応援や競技者の盛り上がりは例年に負けないものだったと思う。雨の影響も心配されたが、約4000人の参加者を集めることができ、全体として成功したといえる。特に新種目については、ルールを明確にし簡単なルールでおこなえ誰でも小さな頃にプレーしたことのある競技にしたこともあり、好評を得ることができた。雨による競技の中止という今回の経験を来年度に上手く繋げなくてはならないだろう。

各競技盛り上がりを見させていたが、横浜で行われた競技は、序盤戦の不戦勝、参加チーム数の少なさが目立った。これは移動に時間がかかることや、宣伝の不足等いろいろな理由が考えられるため、今後臨時シャトルバスや、事前説明会などについて再検討してみる必要がある。

今回の体育祭は、平成15年度体育会本部にとって初めての大大仕事であり、体育館の完成により参加者数を増やすという目的をもって行ったが、雨により昨年より少ない参加人数になってしまった。しかし、入賞を8位まで増やしたことで、アトラクションのひとつを同好会連合にお手伝いしてもらえたということは、学校行事として伝統のある体育祭に新たな息吹を吹き込めたと思った。

体育研究室を始め多くの先生方、事務局の方々の多大なご協力のおかげで大きな事故や問題を起こさずに無事終了することが出来た。大きな規模の課外活動である体育祭を無事行えたのはこれからの体育会において非常に大きな財産になるだろう。

世田谷キャンパス

【開催種目】

紐引き / 腕相撲 / ポートボール / 卓球 / バレーボール / 長縄 / 3ON3 / ドッチボール / ソフトボール / テニス / 騎馬戦 / 障害物リレー / アトラクション



横浜キャンパス

【開催種目】

長縄 / 3ON3 / フットサル / 綱引き / バドミントン / 円ドッチボール / アトラクション



✧◆平成15年度◆✧ 「大学と父母との連絡会」のお知らせ ✧◆

全国26ヶ所
で開催

後援会と大学との共催により平成15年度「大学と父母との連絡会」を下記の26会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子女の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

✧ 平成15年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

開催地	開催日	時間	会場
札幌	9月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテル札幌ガーデンパレス 〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目(TEL 011-261-5311)
仙台	9月14日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテル仙台ブラザ 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-20-1(TEL 022-262-7111)
山形	9月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	山形国際ホテル 〒990-0039 山形市香澄町3-4-5(TEL 023-633-1313)
郡山	9月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルハマツ 〒963-8014 郡山市虎丸町3-18(TEL 024-935-1111)
宇都宮	9月14日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	関東チサンホテル宇都宮 〒321-0964 宇都宮市駅前通り3-2-3(TEL 028-634-4311)
水戸	9月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	三の丸ホテル 〒310-0011 水戸市三の丸2-1-1(TEL 029-221-3011)
東京	9月27日(土)	受付開始 11:30 開催 12:15～15:30	武蔵工業大学 世田谷キャンパス 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1(TEL 03-3703-3111)
横浜	9月27日(土)	受付開始 10:00 開催 10:30～14:00	武蔵工業大学 横浜キャンパス 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西3-3-1(TEL 045-910-2500)
高崎	9月14日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルメトロポリタン高崎 〒370-0849 高崎市八島町222(TEL 027-325-7982)
新潟	9月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルイタリヤ軒 〒951-8061 新潟市西堀通7-1574(TEL 025-224-5111)
甲府	9月 6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	センティア・ホテル内藤 〒400-0858 甲府市相生2-3-16(TEL 055-233-3011)
長野	9月 7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテル国際21 〒380-0838 長野市県町576(TEL 026-234-1111)
松本	9月 6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	松本グリーンホテル 〒390-0815 松本市深志1-5-14(TEL 0263-35-1277)
静岡	9月 7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルアソシア静岡ターミナル 〒420-0851 静岡市黒金町56番地(TEL 054-254-6524)
浜松	9月 6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	オークラクトシティホテル浜松 〒430-7733 浜松市板屋町111-2(TEL 053-459-0111)
富山	9月 7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	名鉄トヤマホテル 〒930-0004 富山市桜橋通り2-28(TEL 076-431-8242)
金沢	9月 6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	金沢都ホテル 〒920-0852 金沢市此花町6-10(TEL 076-261-2121)
名古屋	9月14日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ナゴヤグランドホテル 〒600-8216 名古屋市中村区椿町17-21(TEL 052-451-0688)
京都	9月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	京都第2タワーホテル 〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル(TEL 075-361-3261)
松山	9月 7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルサンルート松山 〒790-0066 松山市宮田町391-8(TEL 089-933-2811)
高知	9月 6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	オリエントホテル高知 〒780-0861 高知市升形5-37(TEL 088-822-6565)
広島	9月 6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島市中区基町6-78(TEL 082-228-5758)
小郡	9月 7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	山口グランドホテル 〒754-0021 山口県吉敷郡小郡町黄金町1-1(TEL 083-972-7777)
福岡	9月 7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルセントラーザ博多 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街4-23(TEL 092-461-2091)
鹿児島	9月 6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ステーションホテルニューカゴシマ 〒890-0053 鹿児島市中央町6-5(TEL 099-253-5353)
那覇	7月12日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテル西武オリオン 〒902-0067 那覇市安里1-2-21(TEL 098-863-9013)